

質疑応答（Q. 会場からの質問, A. 講演者回答, C. 会場からのコメント）

【2. 標準化活動の価値】

日置 達男 （富士フイルム株式会社）

追加質問可（2013-05-31 まで）

概要：

多くの人は「標準」＝「互換性標準」「標準化活動」＝「標準を作ること」と誤解している。企業においては、標準を「事業の匂い」のする言葉で表現しなければ、重要性が認識されない。「標準」＝「(ビジネスを競うための) ルール」であるとすれば、標準に参画することの価値は、不利な標準の阻止や、事業に関連する分野の標準化動向と重要事項の背景を会社に Output として示すことである。こうした活動を通じて標準化人材の育成を行っていくことが大切である。

- Q. 測定標準は互換性標準だが各社で大切なものが異なる。役割が違うので別々に評価をしたほうがよいのでは。
- A. 標準の定義が定まっていなのが問題。むりやり互換性評価ということもできる。また、オープン／クローズで互換性ばかり考えていても仕方がない。
- C. 新規参入者は既存の人を差しおいて活動をすることが難しい。そういう場合には、人脈が威力を発揮する。人脈も評価してほしい。
- Q. ASTMでは新しいPJとして企業の標準化人材育成コースを作るらしいが、どう思うか。
- A. 標準化の価値を考えている人には役立つと思うが、そんなことを考えていない人には役立たないと思う。